

日本学術会議 課題別委員会  
自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会（第3回）  
分科会及び小委員会合同会議 議事要旨

1. 日 時：平成22年8月6日（金）9：00～12：00
2. 場 所：日本学術会議 6-A（1.2）会議室
3. 出席者：＜委員会＞濱田委員長、小松副委員長、市村幹事、塚原幹事、田村委員、佐竹委員、小谷委員、浅岡委員、池田委員、南委員、春山委員、福和委員、和田委員、是澤委員、佐々委員、中埜委員、中邨委員、林春男委員、林勲男委員、  
＜分科会＞千木良委員、沖村委員、斉藤委員、  
＜小委員会＞河原委員、五道委員、鷺坂委員、鈴木良典委員、中川委員、藤原委員、古川委員、望月委員、吉倉委員、  
＜オブザーバー＞大槻さん（池内委員代理）  
欠席者：＜委員会＞今村委員、川島委員、直井委員、大町委員、寶委員、竹内委員、  
＜分科会＞入倉委員、田中委員、  
＜小委員会＞石井委員、池内委員、岡田委員、重川委員、鈴木光一委員、朴委員、増田委員、  
事務局：石原参事官、瀬高補佐、小玉調査員、中島調査員、田中、菅野 他
4. 議 題：1) 前回議事要旨（案）確認  
2) 各分科会報告  
3) 国際協力の現状と課題  
- 鈴木良典 先生（文部科学省地震・防災研究課長）  
- 古川信雄 先生（（独）建築研究所研究専門役）  
- 中川聞夫 先生（（独）国際協力機構 地球環境部長）  
- 池内幸司 先生（国土交通省河川計画課長）  
4) その他
5. 資 料：資料1 日本学術会議課題別委員会 自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会（第2回）及び分科会合同会議 議事要旨（案）  
資料2 ① 防災分野の国際協力に関する基本戦略分科会（第2回） 議事要旨（案）&検討課題（案）  
② 技術協力・被災地支援分科会（第2回） 議事要旨（案）  
③ 人材育成・国際ネットワーク分科会（第2回） 議事要旨（案）  
④ 国際プログラム連携分科会（第2回） 議事要旨（案）  
資料3 防災分野での研究開発における国際協力について  
資料4 地震災害軽減のための国際協力：建築研究所の取り組み  
資料5 JICAの防災分野の国際協力  
資料6 水害による被害の軽減に向けた日本からの貢献について

## 6. 議事概要

### (1) 議題 1) 前回議事要旨（案）確認

市村幹事の説明により、第2回委員会の議事要旨（案）を確認した。

### (2) 議題 2) 各分科会報告

各分科会委員長および委員より、分科会の審議内容について報告があった。  
討議の概要は、以下の通り。

分科会(1)「防災分野の国際協力に関わる基本戦略分科会」

(池田委員長、資料3①)

分科会(2)「技術協力・被災地支援分科会」(和田委員長、資料3②)

分科会(3)「人材育成・国際ネットワーク分科会」(中埜委員長、資料3③)

分科会(4)「国際プログラム連携分科会」(竹内委員長、資料3④)

- ・ 各分科会における議論の内容を委員が相互に把握するため、IDおよびパスワードでログインの管理された情報共有ホームページ上で、可能な限り分科会資料を委員に公開する方針である。分科会資料は市村幹事に送付されたい。
- ・ (1)基本戦略分科会の目的に経済成長への貢献とあるが、実際、開発途上国では重要であるものの、支援の内容には十分配慮すべきではないか。また、(3)人材育成・国際ネットワーク分科会の検討内容には、防災リーダーの育成も含まれていると推測するが、被災後から平時にかけて、行政と協調して防災まちづくりのできる人材を育成するという視点も重要と考える。
- ・ 経済成長そのものに対する貢献というよりはむしろ、安全・安心な国づくりによって災害が減少することに重点を置いている。日本自身が克服してきた課題でもあり、途上国に貢献できることも多いのではないか。
- ・ 地域リーダーの育成や防災コミュニティづくりを、災害の事前に開始するのが課題であり、本委員会で検討していきたい。
- ・ (2)技術協力・被災地支援分科会の資料に記述のある、地震リスクを確率的に示そうとするプロジェクトについて、日本からの参加者の照会があったが、候補者を挙げたままの状態になってしまっている。本委員会で議論すべき、防災分野における日本のプレゼンスの問題に関わる一つの例と考えられる。
- ・ 企業をいかにして防災事業に取り込んでいくかを意識してもよいのではないか。延岡における竜巻では、建設業協会が即応した例もある。

### (3) 議題 3) 国際協力の現状と課題

- 文部科学省 研究開発局地震・防災研究課 鈴木委員  
資料3に基づき、文部科学省が実施している研究者間の協力支援、および政府主導の二国間科学技術協定の取組みについての説明、および科学技術・学術審議会で行われている今後の方向性に関する議論についての紹介があった。
  
- 建築研究所 研究専門役 古川委員  
資料4に基づき、建築研究所が取り組んでいる国際的プロジェクト・研修事業の位置づけについて、特に国際地震工学研修について実施内容と今後の展望についての説明があった。
  
- 国際協力機構 地球環境部長 中川委員  
資料5に基づき、JICAが実施している防災分野の国際協力の取組みについて、協力指針、具体的な事例および新たなスキームとしての科学技術協力に関する説明があった。
  
- 国土交通省河川局 水利技術調整官 大槻オブザーバー（池内委員代理）  
資料6に基づき、国土交通省がこれまで国内で実施してきた治水対策の取組みの紹介、および治水対策の途上国への展開において解決すべき課題に関する説明があった。

### (4) その他

- ・ 濱田委員長より、今後の委員会の進め方について説明があった。  
国際協力の現状と課題について委員が共通認識を持つために、第5回委員会までは全体会議に話題提供の時間を設ける。その後は分科会ごとの審議を予定している。
  
- ・ 今後の委員会開催予定  
第4回委員会： 9月13日（月） 13：00～  
第5回委員会： 10月15日（金） 9：00～